

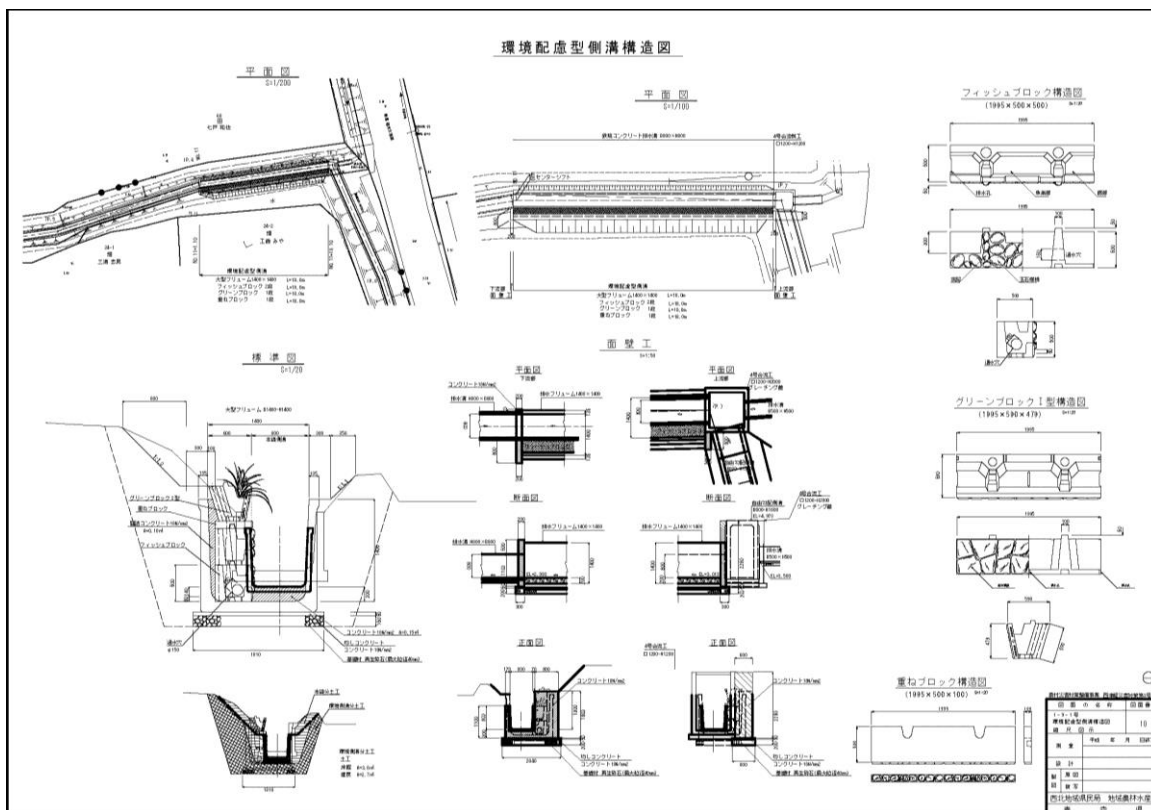
環境保全・再生工事データベース

作成(更新)年月日

平成28年5月30日

事業名	災害対策事業	地区名	西津軽地区	市町村名	つがる市		
工種	排水路工						
配慮事項区分	環境・景観配慮	施工年度	H27				
農業地域類型	平地農業地域	地形勾配	-				
事業による影響	3面装工二次製品水路による水生生物の減少						
配慮施設に対する 保全対象生物の 選定及び選定理由	ドジョウ	施工前に多く生息					
	その他魚類全般						
保全対象生物の生活史等から見た配慮事項							
配慮施設の構造等 を検討する際に留意 した事項	・対象となる生物の生息できる環境を創出した。						
配慮施設の位置を 決定する際に留意 した事項	・環境公共推進協議会会員並びに土地改良区との協議会を行い設置場所を選定。 ・維持管理の容易さを考慮し、県道・住宅付近に設置。						
環境配慮5原則区分	最小化, 影響の軽減						
配慮施設の構造		施設の設計条件等					
施設名称	環境配慮型側溝	用水期間	代掻き期	-			
箇所数 延長	N=1箇所 L=18.0m		普通期	-			
			非灌漑期	-			
主要構造	別添図面参照	配慮施設の非灌漑期の 水の有無、確保状況			有		
		水深(cm)		流速(m/s)		流量(m ³ /s)	
		1.用水路		1.用水路		1.用水路	
		代掻き期		代掻き期		代掻き期	
		普通期		普通期		普通期	
		非灌漑期		非灌漑期		非灌漑期	
		2.排水路		2.排水路		2.排水路	
1/2流量		1/2流量		1/2流量			
護岸	コンクリート	1/10流量	0.687m	1/10流量	0.641m	1/10流量	0.335m
		非灌漑期		非灌漑期		非灌漑期	
施設底	コンクリート	水路勾配	1/2,000		護岸勾配 土羽勾配	左岸 1:1.1 右岸 1:1.0	
		施設諸元	水路緒元: 大型フリュームB1,400×H1,400				
二次製品 使用有無	有						

施設平面図及び構造図



施設写真



写真説明

環境配慮型側溝を水路内に3段施工し、魚類等の住処、避難所等として機能。上段部は植生を考慮し、魚層ブロック内に現地発生土が敷かれている。

環境配慮施設の設計条件等の決定根拠・参考文献						
施設の構造・規模の決定根拠等					参考文献(引用、出典)	
モニタリング						
区分	調査有無	調査の種類	時期	回数	調査方法	施設の状況
施工前	無					
施工中	無					
施工後	有	魚類調査	H28	1回/年	タモ網	土砂体積： 魚層ブロック部なし 本線部なし
工事中 の一時的 避難	避難有無	避難対象生物				
	有	主にドジョウ。その他魚類全般。				
モニタリング 結果概要	施工前					
	施工中					
	施工後	H28年度に実施する予定。				
モニタリング結果 からの評価		H28年度に実施する予定。				

営農を考慮した工法の検討		
営農上の課題、農家の意見・要望	左に対する工法等の工夫点	その他の課題
維持管理を考慮した工法の検討		
維持管理上の課題	左に対する工法等の工夫点	その他の課題
環境配慮施設の施工面での留意点、工夫点		
留意点		
工夫点		
環境配慮施設の今後の維持管理方法		
留意点		
環境配慮施設の工事費 (諸経費を含む)	環境配慮施設工 1,860千円/m	
実施設計担当者職氏名	技師 品川 由輝	
工事実施担当者職氏名	技師 品川 由輝	
施工後モニタリング担当者職氏名		
データベース作成(更新)者職氏名	技師 間山 友和	

モニタリング結果資料

その他特記事項